

# 宮城県林業普及活動情報

2026. 2月号 No. 213

## もくじ

### 各地の林業普及活動情報

P 2～9

- 七ヶ宿町森林組合地区説明会での森林経営計画等に関する説明 (大河原地方振興事務所)
- 伴走支援打合せ (大河原地方振興事務所)
- 名取市の木材利用に関する相談に対応 (仙台地方振興事務所)
- 森林施業の集約化に向けて市町村伴走支援 (仙台地方振興事務所)
- 特用林産物生産統計調査に合わせた生産状況調査 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 竹材活用に向けたマッチング支援・現地確認 (東部地方振興事務所)
- 登米地域「森林業」ガイダンス (FORESTJOB ハイスクール) 事前打合せ支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 宮城県林業研究会連絡協議会第70回通常総会等の開催 (林業技術総合センター)

## 七ヶ宿町森林組合地区説明会での森林経営計画等に関する説明

大河原地方振興事務所

【13日(金)】

七ヶ宿町森林組合より七ヶ宿町森林組合地区説明会での森林経営計画等についての説明に関する講師依頼があったため、森林経営計画担当者と普及指導員を派遣しました。説明会では出席した町内の森林所有者に対して森林経営計画の策定や同計画の策定が必須要件となっている森林育成事業等の補助事業の概要を説明し、森林の整備・更新について助言を行いました。

意見交換では、花粉対策となる少花粉スギ苗や早生樹への転換目標等について意見が出されたため、県が取り組んでいる状況について紹介するとともに、引き続き情報提供を通じて、森林整備を進められるよう助言しました。



【説明会の様子】

## 伴走支援打合せ

大河原地方振興事務所

【24日(火)】

第3回目の伴走支援を実施し、関係者で打合せを行いました。

以前質問のあった、譲与税を用いた町独自の補助金について、他市町村で実施されている事例をサポートセンターから紹介し、事務所からは「みやぎ環境税」との棲み分けに注意するよう指導しました。また、来年度以降の進め方について検討しました。

その後、町が事前に確認した、意向調査及び森林整備実施の候補地について現地を確認しました。

蔵王町からは、譲与税を統合中学校の木工事に使用するため、来年度は意向調査の委託発注準備を入念に行いたいとの希望が出されました。また、現地を2箇所確認したところ、1箇所は森林整備に適した場所であり、このような箇所から意向調査を進めていくことを推奨しました。

引き続き、関係機関と連携を図りながら助言・指導を行っていきます。



【伴走支援現地確認】

## 名取市の木材利用に関する相談に対応

仙台地方振興事務所

【20日(金)】

名取市において、今年度、森林環境譲与税を活用して、庁舎一階受付カウンター及びキッズコーナーを木質化することから、施工状況を情報収集するとともに、今後の名取市における木材利用について相談に対応しました。

名取市の財政課担当者及び農林水産課担当者とともに、名取市の内装木質化のねらいを共有し、他県の状況について情報提供しました。

名取市では来年度に令和9年度から10年間の公共施設総合管理計画を策定するタイミングにあります。当計画では古い施設の更新に関しても検討することから、木材利用について他自治体の事例や補助金等について、今後も情報提供していくこととしました。



【受付カウンター木質化の状況】



【キッズコーナー木質化の状況】

## 森林施業の集約化に向けて市町村伴走支援

仙台地方振興事務所

【18日(水)】

大衡村及び名取市では、森林整備に向けて集積計画を年度内に公告する事を目標としていることから、今後の進め方について支援しました。

大衡村では、集積計画について森林所有者2名に事前連絡しており、今回は集積計画の最終案及び同意書の確認と公告手続きについて支援しました。

名取市では、地番図、林小班、現況の樹種境界が一致しない現状を踏まえ、境界確認とプロット調査の委託業務を行いました。今回は得られた成果を集積計画に反映し円滑な森林整備発注に向けた道筋が整ったことから、集積計画の最終案と共有林の同意取得スケジュール調整を確認しました。

両市村とも担当者の理解が得られました。今後も支援を継続していきます。



【伴走支援の状況】

## 特用林産物生産統計調査に合わせた生産状況調査

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【25日(水)】

管内ではこれまで、特用林産物生産統計調査を実施する際、一定の生産量があるにもかかわらず、高齢のため調査への協力が得られない生産者の方々が一定数いらっしゃいました。そのため今年度、直接事業所や自宅を訪問して協力をお願いするとともに、昨年までの生産実績や、現在の目標・課題などについても聞き取りをしました。

その結果、統計調査にご協力いただき管内の生産状況をより正確に把握できたとともに、生産者の皆さまと直接対面することで、高齢化に伴い事業継続を迷われていたり、今まで経験のなかった首都圏へ製品を出荷することになり価格設定に悩んでいらっしゃるなど、現場の切実な声を直接聞くことができました。

今後もこのような調査実施を足掛かりに、このような訪問を実施し、生産者の皆さまの課題解決に向けて、継続的な支援を行ってまいります。



【直接自宅に訪問し、課題等について聞き取り】

## 竹材活用に向けたマッチング支援・現地確認

東部地方振興事務所

【6日(金)】

来年度竹林整備を予定している森林づくり活動団体に対して、竹材買取業者とのマッチングを図り、伐採方法や時期の注意点などを現地で確認しました。

竹材買取業者と一緒に現地確認をすることで、効果的な整備方法を検討することができました。また、来年度も伐採前にマッチングした竹材買取業者と現地確認することとなったため、引き続き立会いの上、支援していきます。



【現地確認の様子】

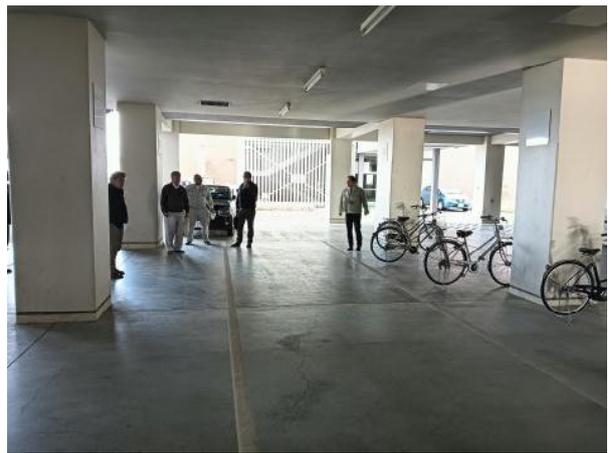
## 登米地域「森林業」ガイダンス (FOREST JOB ハイスクール) 事前打合せ支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【2日(月)】

森林組合の担い手確保を目指して、登米市内の高校生に職業として森林・林業＝「森林業」を意識してもらうための、登米地域「森林業」ガイダンス (FOREST JOB ハイスクール) を開催するため、登米総合産業高等学校の先生方と事前打合せを実施しました。

当地域初の高校生ガイダンスは令和8年3月18日(水)に開催することが決定し、高校生からの事前アンケートを元に、森林組合の若手が日々の仕事説明を行うほか、伐倒のデモンストレーション、生徒の造材体験等を実施することとなりました。



【デモンストレーション現場の確認】



【ガイダンス会場の確認】

## 宮城県林業研究会連絡協議会第70回通常総会等の開催

林業技術総合センター

【6日(金)】

標記協議会の令和8年度宮城県林業研究会連絡協議会第1回役員会、森林・林業研修会及び第70回通常総会が当所研修棟において開催されました。

役員会では、総会の役割分担と進行方法の確認がされました。

続いて、森林・林業研修会が開催され、NPO法人SCR(ディスカバー農山漁村(むら)の宝第12回認定)の千葉木育リーダーか



【役員会の様子】

ら、富谷市大亀山森林公園における活動内容について報告がありました。

その後、通常総会が開催され、令和7年度事業・収支実績・監査報告並びに令和8年度事業計画及び予算案が事務局から説明され、異議なく承認されました。

これからも、林業後継者の育成・確保及び地域経済の推進を目標とする宮城県林業研究会連絡協議会と共に歩みます。



【研修会の様子】



【総会の様子】